

教育子ども委員会  
説明資料  
(追加分)

平成29年3月21日

教育委員会



# 目 次

	頁
1 なごや子ども応援委員会の相談等対応における効果について	・・・ 1
2 なごや子ども応援委員会の職種別一人当たり相談等対応件数について	・・・ 4
3 なごや子ども応援委員会の運営予算について	・・・ 4
4 学区外通学により登校できるようになった不登校児童生徒数について	・・・ 5

# 1 なごや子ども応援委員会の相談等対応における効果について

(1) 平成26年度

(単位：件)

区 分	解 消	軽 減	変化なし
不 登 校	19	104	90
い じ め	38	18	4
友 人 関 係	14	22	—
教職員の指導	1	2	1
家庭の問題	14	39	11
発 達 障 害	4	10	2
病 気 け が	1	2	—
虐 待	2	11	1
非 行	—	—	2
精神的不安	8	22	1
進 路 関 係	4	3	—
学校不適応	2	8	2
そ の 他	20	30	11
計	127	271	125

(注1) 不登校には、文部科学省が調査対象とする児童生徒以外も含む。

(注2) 解消、軽減、変化なしの別は、子ども応援委員会職員の報告に基づく。

## (2) 平成27年度

(単位：件)

区 分	解 消	軽 減	変化なし
不 登 校	46	197	185
い じ め	45	31	11
友 人 関 係	34	29	11
教職員の指導	3	1	3
家庭の問題	39	74	58
発 達 障 害	10	37	43
病 気 け が	7	5	3
虐 待	8	16	18
非 行	4	9	2
精神的不安	24	62	27
進 路 関 係	6	7	3
学校不適應	12	34	18
そ の 他	54	68	50
計	292	570	432

(注1) 不登校には、文部科学省が調査対象とする児童生徒以外も含む。

(注2) 解消、軽減、変化なしの別は、子ども応援委員会職員の報告に基づく。

## (3) 平成28年度

(単位：件)

区 分	解 消	軽 減	変化なし
不 登 校	64	222	214
い じ め	28	26	5
友 人 関 係	104	62	22
教職員の指導	7	4	4
家庭の問題	66	167	87
発 達 障 害	17	84	45
病 気 け が	9	12	2
虐 待	13	19	20
非 行	8	9	8
精神的不安	83	171	75
進 路 関 係	15	9	3
学校不適応	23	95	42
そ の 他	173	110	47
計	610	990	574

(注1) 不登校には、文部科学省が調査対象とする児童生徒以外も含む。

(注2) 解消、軽減、変化なしの別は、子ども応援委員会職員の報告に基づく。

(注3) 平成29年1月末日現在の数値を掲げた。

## 2 なごや子ども応援委員会の職種別一人当たり相談等 対応件数について

(単位：件)

区 分	26年度	27年度	28年度
スクール カウンセラー	105	242	310
スクール ソーシャルワーカー	118	277	291
スクール アドバイザー	122	192	206
スクールポリス	16	40	44

(注1) 各職種が対応した延べ件数を職員数で除した数値を掲げた。

(注2) 平成28年度は平成29年1月末日現在の数値を掲げた。

## 3 なごや子ども応援委員会の運営予算について

(単位：千円)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額	318,224	502,363	706,424	947,749

4 学区外通学により登校できるようになった不登校児童  
生徒数について

(単位：人)

区 分	26年度	27年度	28年度
小学校	1	6	1
中学校	1	2	1
計	2	8	2

(注) 平成28年度は平成29年2月末日現在の数値を掲げた。